

令和 7 年 第 21 回

江戸川区教育委員会定例会会議録

日 時：令和 7 年 1 月 11 日（火）午後 1 時 30 分
場 所：教育委員会室

教育長	内野雅晶
教育長職務代理者	天野安喜子
委員	森本勝也
委員	伊藤真弓

事務局	教育推進課長	飯田常雄
	学務課長	木村美由紀
	学校施設課長	栗間大介
	教育相談センター長	百々和世
	統括指導主事	田中将一
	統括指導主事	堀田誠

書記	教育委員会事務局	
	教育推進課庶務係長	中尾 隆
	同 主査	樽川翔平

	開会時刻 午後 1 時 30 分
内野教育長	<p>ただいまから、令和7年21回教育委員会定例会を開催いたします。</p> <p>松山委員より所用により欠席するとの連絡がありましたので、ご報告いたします。</p> <p>本日は2名の方から傍聴の申出がございますので、事務局から傍聴人を入室させてください。</p>
	〔傍聴人入室〕
教 育 長	<p>それでは、日程第1、署名委員を決定いたします。本日は、森本委員と伊藤委員にお願いいたします。よろしくお願ひいたします。</p> <p>日程第2、議案の審議にまいります。</p> <p>第50号議案、令和6年度教育委員会事務事業点検・評価の実施についてを審議いたします。内容について事務局から説明をお願いいたします。</p>
飯田教育推進課 長	<p>それでは、ご説明申し上げます。</p> <p>令和6年度事務事業点検・評価報告書（案）という資料になりますが、1枚目が表紙、次のページが中表紙になりますので、資料の3枚目のところにページ番号1番、1ページと振ってあるページがあると思いますので、そちらからご覧ください。</p> <p>1ページの上段にございますように、今回の事務事業点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき実施しているものになります。法律の条文はページの下段にございます。</p> <p>ページ番号2ページ目をご覧ください。令和6年度の事務事業の点検・評価ということで、今回、対象に挙げさせていただいた事業は2ページ目の（1）に記載をさせていただいた4事業になります。</p> <p>郷土資料室が教育推進課、学校版もったいない運動が学務課、外国語指導助手が教育指導課、EDO塾が教育相談センターであります。</p> <p>（2）の点検・評価の方法ということで、①に記載がございますように、対象とした事務事業について、当該事業の所管課が自ら点検・評価を行った上で、今回お示しした資料はこちらの段階の資料になります。それぞれ所管課のほうで点検・評価を行った資料です。</p> <p>これについて、本日、教育委員会で内部評価を実施していただき、その評価が決定した段階で外部評価を実施する予定でございます。</p>

3ページ目をご覧いただきますと、④のところに内部評価の指標がございますが、成果、有効性、効率性という3点で評価を行ってございます。

次の4ページ目をお開きいただきますと、評語の定義ということで、成果等につきまして1から5の5段階評価をそれぞれ事務局案ということで進めさせていただきました。

それぞれの事業につきまして、各課長からご案内をさせていただきたいと思います。5ページ目をお開けいただければと思いますが、最初の事業は郷土資料室になります。教育推進課でございますので、私からご案内いたします。

【1】の事業目的にございますように、都市化とともに失われていく文化財を保護し、教育活動に活用するということがこの施設の目的でございます。

【2】の1に記載がございますように、昭和40年の12月に開館した施設になりまして、【2】の2にございますような開室時間、休室日、また観覧料としましては無料ということで運営しているものでございます。

(2)、(3)に記載がございますように、職員による管理・運営を行っているところであります。

6ページ目をご覧いただきますと、上段のほうに施設の配置ということで、出入口という表記があるかと思いますが、入ってすぐのところが企画展示、右側に行っていただくと常設展示というような構成になってございます。面積は360平米であります。

3番の実績でございますが、利用者の状況としては、令和6年度の来室者数は1万1,756人であります。いわゆるコロナ前につきましては、平成30年については1万7,000人ほどいましたので、新型コロナのときに7,000人まで落ち込む後に徐々に回復してきてはございますが、コロナ前の段階まではまだ至っていないような現状となります。来室者数は1万1,756人、表にございますように、そのうち学校の団体見学の受入れ数は13校1,242人でございます。

(2)の常設展示でありますが、こちらにございますように「江戸川区のあゆみ」「くらしとわざ」「川と海と江戸川区」という大きな三つのテーマに沿った常設展示を用意してございます。

車椅子の方も観覧ができるように低めの展示台を基本とし、広い通路で動きやすい動線ということを心がけております。

7ページ上段に企画展示がございますが、毎年企画展示ないしはミニ企画展ということで、テーマに沿った成果を展示してございます。昨年度令和6年度につきましては、「小岩の和傘のつくりかた」、また「築99年の住宅調

	<p>査からわかること」、その他ミニ企画展として、一之江名主屋敷のかやぶき屋根の葺き替えを少し前に行いましたので、そちらを紹介しながら「かやぶき屋根のヒミツ」というようなミニ企画展も実施をいたしました。</p> <p>経費は793万4,000円でございます。</p> <p>内部評価でございますが、まず成果につきましては、利用者数はコロナ禍以降、回復傾向ではあります。令和6年度は1万1,756人という集客がございました。</p> <p>2段落目の2行目の中ほどからになりますが、小学校の社会科見学をはじめ、郷土教育の拠点としての役割を果たしております。また、高齢者や介護施設の利用者の来館も増えており、生涯学習の場としての機能も発揮しているものであります。</p> <p>8ページでございます。有効性でございますが、学校教育との連携を通じ、児童生徒に共通理解を促進する教育的効果があります。また、下から3行目になりますが、企画展の関連イベントを開催する中で、区民の参加機会も提供しております。</p> <p>効率性でございますが、都内の他区の郷土資料館と比べると床面積は小さいんですが、スペースを最大限活用して展示を行っている点、また、限られた人員で効率的に運営している点が効率的として挙げさせていただきました。</p> <p>4番の今後の課題でございますが、展示・公開の工夫、集客力の向上、郷土教育・学びの拠点、この三つが主な課題として捉えてございます。この三つを今後克服するためといいますか、そういったところも含めまして、4番の二つ目の段落にございますように、今年度、グリーンパレスから篠崎にあります文化プラザへの今、移転の準備を進めているところでございます。</p> <p>郷土教育の場として、これまで60年近くになりますでしょうか。郷土教育の場としてこちらが貢献してきたところは、こちらの内部評価としても高く評価したいところではありますが、コロナ禍以降、集客力がまだ十分に回復していないというところも含めて、5段階評価の4をつけさせていただいたところでございます。</p> <p>1点目については以上です。</p> <p>木村学務課長 次は、学務課のほうからお願いいいたします。事業名は学校版もったいない運動2024ということで、9ページ目からお願いいいたします。</p> <p>事業の目的としましては2点ほどございます。</p> <p>「環境行動計画」「エコタウンえどがわ推進計画」の方針に基づきまして、</p>
--	--

温室効果ガス排出量の削減を目的とした光熱水使用量削減及びごみの減量を実現させるということと、あとは園児、児童、生徒に環境教育をすることで「エコタウンえどがわ」の実現を目指すということになります。

事業の概要としましては、平成13年度に「資源循環型学校づくり」をスタートしまして、平成21年度に「学校もったいない運動」に名称を変更した経緯がございます。江戸川区が推進する「もったいない運動」に取り組みまして「物を大切にする心」の育成を目指しております。

下の図にありますように、左端の目標・計画の策定をしまして、上に行つていただきて、前年度の使用量等の実績を確認します。そこで反省をして、また計画の推進、後期に入りますと、当該年度の上半期の使用量と実績を確認して、また反省をしてという形で、このサイクルで行っております。

6年度の対象となったのは、区立の小学校が66校、中学校が32校、幼稚園が1園という形で実施してまいりました。

2番目の目標と取組の結果なんすけれども、令和6年度の目標値としましては、こちらは江戸川区第6次環境行動計画に基づいて、以下のとおりとなっております。これは令和3年度比というのが6次計画になっておりまして、電気、ガス、水道、廃棄物という形でお示ししているとおりの目標値になっております。

結果すけれども、次のページになりますが、光熱水使用量、令和3年度比で、電気に關しましては合計のところを見ていただきますと3年度比3.8%多くなっておりますけれども、そちらの理由としましては、夏の始まりが早いことや、あと終わりも遅かったりとか、あとは既に暑いという気候がありましたので電気量がかなり増えているというところがございます。ガスに関しましても同じ理由によるものです。

下水道に關しましては、こちらは減ってきておりますけれども、給食室でドライシステムということでお水で流さないで床を洗ったりというのが大分進んできておりますので、それによる削減、それからあとは子どもたちへの教育にもつながっているところで、水道のほうは減ってきております。

ごみの排出量に關しましては、こちらは全部減少はしているんですけども、減らす目標値のほうがかなり高い目標値を設定しております、目標値が毎年10%ずつ増加していく中の減らしていくというところになりますので、減り具合は少ないんですが、減少しているという結果になっております。

(4) で各学校の具体的な取組ということで、電気に關しましては、差し込む光とか業務に支障がない範囲で消灯をしていくという、本当に具体的に

小さなことから学校のほうはやっていただいております。

ガスについても、先生方などはクールビズですかウォームビズを実施していただいております。

下水道については、環境委員の活動などで節水・節電のポスターを作っていただきたりして、校内の手洗い場とかトイレ、教室などで掲示していただいております。

燃やすごみ、燃やさないごみなどにつきましても、配布文書を減らしたりですとか、ペーパーレスで会議を実施していただいているところです。

生ごみに関しては、喫食時間の確保や、当日のクラスの人数に応じた配食ですね。こちらは給食時間の徹底を行っていただいております。

Ⅱの経費になりますけれども、こちらにお示ししているのは令和6年度の光熱水費になっております。廃棄物もこういった金額で委託をしております。

最後に内部の評価なんですが、成果としましては、電気・ガスの使用量は目標値を達成することはできなかったんですが、こちらは先ほどご説明したとおりで、記録的な猛暑によって、夏季の空調機器の使用量の増加が要因と考えられております。

次のページのグラフを見ていただければ分かるんですけども、こちらのほうを参考のために載せさせていただいておりますが、令和3年度と令和6年度で気温の差がかなりあります、これによる電気量の差が出ているのではないかというふうに思っております。

水道量につきましても、先ほど示したとおりで、ドライシステムなどの導入によって節水が進んでいるということがございます。

Ⅱの有効性なんですが、こちらのほうはものを大切にする気持ちや地球環境の改善を基本に、区内の児童、生徒、園児と教職員全員が目標を設定して、環境教育を行うことで「エコタウンえどがわ」を目指しております。もったいない運動は着実に児童、生徒のほうに広がっておりまして、個人の節約の意識は高まっているんですけども、目標値が未達成の項目もあるため、各学校に、引き続き、もったいない運動を推進していく必要があると思っております。

効率性は、学校（園）ごとに目標の設定、達成度や効果を考察して、翌年の目標に反映することができるため、効果的に目標の実現を目指すことができると思っています。

今後の課題としては、平成21年度よりもったいない運動に取り組んできており、幼稚園や小・中学校全体としては一定の成果を上げていると思いま

	<p>す。しかしながら、取組と成果が結びつかない学校も中にはありますので、今後はこれまでの取組を踏まえて児童、生徒、園児、教職員がさらに積極的に活動できる方針を講じる必要があると思っております。</p> <p>それで内部評価は4とさせていただきました。</p> <p>以上です。</p>
教 育 長	ありがとうございました。
田中統括指導 主 事	<p>教育指導課長の大川が本日、ほかの公務で欠席になっておりますので、私、統括指導主事が臨時でご説明させていただきます。</p> <p>教育指導課からお示ししたのは、外国語指導助手（ALT）でございます。</p> <p>担当教員の補助をしながら英語学習を進めていく人材になりますけれども、事業の目的としては、中ほど4行目からありますけれど、小学校3年生から始まる英語学習において、聞くこと、話すこと、特にやり取りや発表の領域を中心として実際のコミュニケーションで活用できる英語の技能を児童・生徒に身につけさせるために、教員の補助という役割で外国語指導助手（ALT）を配置しております。</p> <p>事業の概要（3）といたしましては、令和6年度から中学校でも年間35時間の配置が可能になっておりますので、令和6年度からは小学校3年生以上は全てのクラスで年間35時間配置することができます。</p> <p>（5）の職務内容は、授業等における指導、英語による指導はもちろんのこと、②番では学校行事や特別活動等の教育活動にも参画してございます。さらには③番の学習内容に関わる計画であるとか、④番の教員に対する語学研修も担っていただきます。</p> <p>実績はこちらに書いてあるとおり、配置日数が書いてございます。</p> <p>経費ですが、申し訳ございません。ちょっと誤りがありました。小中学校合わせて約2億7,000万円の事業となってございます。訂正をさせていただきます。</p> <p>内部評価の成果としましては、小学校では令和2年度から3・4年生で外国語活動という授業が始まり、第5・6学年でも外国語科ということで、評価としての学習が始まり、また、中学校でも平成29年告示の学習指導要領の全面実施から数年が経過し、各学校では系統的に英語の学習が進められてございます。</p> <p>16ページに移りますが、実際の場面で活用できる英語でのコミュニケーション能力の育成を目指して、教員の指導力向上も図っている授業でござい</p>

	<p>ます。具体的には英語でのやり取りの学習について教員がALTとペアになって手本を見せたり、英語の授業で学習した成果を子どもたちがALTの面前で英語で披露したりと、児童・生徒が生きた英語に触れる機会を持つことができています。さらに先ほど、授業以外の参画ということもありましたけれども、ALTを朝の挨拶運動や給食中の放送を英語で行ったりであるとか、休み時間、放課後に子どもたちと触れ合いながら英語の学習を進めているような取組も行われています。</p> <p>また、令和6年度からは、小岩第二中学校に3名ALTを派遣して、年間を通して全ての教育活動で子どもたちがALTと触れ合うという活動も行っております。この成果が区内全域に広まっておりまして、東京都が行っているテストもスコアも向上していますし、文部科学省が毎年度実施している英語教育実施状況調査というのもありますけれど、こちらの調査は義務教育が終わる中学校3年生が終わる段階において、英検3級程度を目安に英語力を身に付けましょうというのが全国的な目標となってございますが、その制度の割合が江戸川区では上昇しております、ちょっとグラフは見にくいですけれど、令和6年度全国的な平均値を上回ったということもございます。年々成果が表れているところでございます。</p> <p>有効性でございますが、本事業はALTとのコミュニケーションを通して、子どもたちが生きた英語に触れるとともに、普段の学習授業において学習した英語のフレーズや英会話をALTとのやり取りの中で実践して、学習効果を実感したり学習意欲につなげたりしている事業です。</p> <p>効率性といたしましては、小学校3・4年生では英語の学習の楽しさについて体験する、5・6年生ではALTとやり取りをしながら英語学習の成果や課題を児童自身が自覚する。</p> <p>そして、中学校では実践的な英語力を身につけるというような学習の積み重ねができているところでございます。</p> <p>今後の課題ですが、最後の3行で書きましたけれど、やはり義務教育9年間を見通して、継続性、連続性のある英語の学習というところが必要とされてございますので、外国語指導助手を活用しながら、子どもたちの英語力向上を目指していきたいと考えてございます。</p> <p>以上の結果から内部評価は4としております。</p> <p>以上でございます。</p> <p>教 育 長 ありがとうございました。</p>
--	--

百々教育相談センター長	<p>それでは、18ページをご覧ください。教育相談センターからは、EDO塾についてご説明させていただきます。</p> <p>事業目的としましては、江戸川区立中学校に在籍する第3学年の生徒を対象に、成績上位等で学ぶ意欲は高いんですが、家庭の事情等により塾などの学習機会が少ない生徒に学ぶ機会を提供することを目的としまして、令和6年9月から開始しております。</p> <p>事業概要ですが、対象生徒は中学3年生で、入塾方法としましては、世帯年収の審査など、または入塾テストを行う入塾者を決定しております。</p> <p>場所は中央図書館、小岩図書館、西葛西図書館の3か所で開塾しております。平日授業を週2日実施しました。また、冬期講習も5日間実施したところです。</p> <p>実施教科としましては、数学、社会、理科、英語となっております。冬期講習は国語含めた5教科で実施いたしました。時間としましては、午後6時から9時までの3時間を実施したところでございます。</p> <p>運営委託業者としましては、Educational Network、Z会グループの会社に委託をしたところにございます。</p> <p>募集人数につきましては記載のとおりですが、令和6年度は51名が入塾をいたしました。</p> <p>2番の実績なんですけども、表をご覧ください。</p> <p>(2) 学校の成績なんですが、2学期の通知表におきまして塾生の44%が5教科合計の成績、また70%の生徒が9教科の合計の成績が上昇いたしました。</p> <p>また、志望校順位別進学率としましては、生徒の86%が第一志望の高校に合格することができました。残りの子たちも第二志望までに入ることができまして、全員が自分の希望する、望む高等学校に進むことができたところでございます。</p> <p>また(4)番の進学指導重点校等への難関校と言われている高等学校につきましても、全体の36%の生徒が難関校に合格することができました。</p> <p>19ページ目をご覧ください。こちらは進学別の表となっております。</p> <p>3番目の生徒への事後アンケート、こちらが一番重要だと捉えておりまして、EDO塾に満足していますかということで、「そう思う」が85.1%、「ややそう思う」が14.9%ということで、全員がおおむねこのEDO塾に満足していただいたのかなと思っております。</p> <p>(2)の(1)の回答での理由としましては、やはり確実にEDO塾に通えたことで、学力がしっかりと上がったと。二つ目がいいなと思いまして、同</p>
-------------	--

じ目標を持った子たちと知り合えて楽しかった。自分の可能性が広がったということで、EDO塾に入ったことによって、自分はここまでかなと思っていたものがもっとできるんだ、可能性を広げられたというところが大きな成果なのかなと思っております。

経費につきましては、EDO塾運営委託費としまして2,100万円ほどを使わせていただきました。これは全員分寄附金で昨年度は実施しているところでございます。

3番の内部評価ですが、令和6年9月より開始しました本事業につきましては、51名の生徒が入塾しまして、学力の向上を軸に、希望の進路の実現に向けて事業を進めることができました。

先ほど述べさせていただいたとおり、学校の成績、または模試等によって成績のほうを上げることができました。また、入塾のアンケートでは満足度が100%となっており、受講した生徒からの口頭の声をいただいているところでございます。

20ページ目に入っていきます。有効性につきましては、現在、本区では抜け目のない学習支援を現在、進めているところでございます。表をご覧ください。

成績上位下位にかかわらず、また所得が低い、高いにかかわらず、全ての子どもたちを対象に学習支援を様々な事業で行っている中におきまして、同地区のその位置、その役割を担っているところでございます。

3番目の効率性につきましては、今回委託いたしました事業者が、他自治体でも同様の事業を行っていることから、本事業の立ち上げから、生徒の募集、運営に至るまでの流れや課題を事前に提示してくれたため、事業実施決定から開始まで期間がない中において、スムーズに事業を開始することができました。

また、民間事業において進学実績がある事業者でしたので、教材作成や運営委託をする中で、限られた時間の中でしっかりと学びを展開することができたのが効率性として挙がっております。

今後の課題といたしましては、昨年度は事業初年度であることを踏まえて、募集人数に対して、入塾者数に達していなかったんですけども、今後の広報活動の方法には工夫があると考えております。

また、外部模試につきましては1回の実施となつたため、正確な成果の検証については入試の結果から推測することだけになってしまったなというところで、途中経過の検証のために複数回の外部模試の試験での検証が必要であると考えてございます。

	<p>また、開始の時期に関しましては、江戸川区の子どもたちの状況は部活動に熱心な子どもたちもいますので、夏期講習から実施することによって、さらなる事業成果を生み出していきたいと考えているところでございます。</p> <p>昨年度につきましては、開始時期が遅かった中でも子どもたちが非常に頑張ってくれていい評価のほうもいただいたところで、満を持して5というところで評価のほうをさせていただいているところでございます。</p> <p>以上でございます。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、4点説明がありましたが、ご質問、ご意見等をお受けしたいと思います。まず1点目の郷土資料室関係で何かご意見、ご質問等がありましたらお願ひいたします。</p>
伊 藤 委 員	<p>郷土資料室、有意義なことでいいと思います。</p> <p>その中で、団体の学校が13校ということだったんですけども、これはやはり近隣の小学校が多いんでしょうか。</p>
教育推進課長	<p>今、学校名のリストを持っていないのであれなんですけれども、バスを使ってこちらにいらっしゃる方も意外にありますので、学校は近隣に限らずに来ていただいております。65校ある中で13校というところについては、残りの学校の多くが、一之江名主屋敷のほうに、名主屋敷は昨年度36校行っておりますので、名主屋敷、もしくはこの郷土資料室というところで、どちらかというような形で選んでいただいております。</p> <p>以上です。</p>
伊 藤 委 員	<p>分かりました。グリーンパレスという土地柄と、また奥のほう、新館のほう、3階ということで動線があれだったので、篠崎になってすごく使いやすく、また体験しやすくなるんじゃないかなと思いました。</p> <p>以上です。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。</p>
天 野 委 員	<p>取りあえず、この評価の4事業については全てが細かく資料で秀逸というか、出していただいて、内部評価のポイントというか、適当というか、いいんではないかなと思っているところです。今、郷土資料室の話で、私も伊藤</p>

	<p>委員と同じ意見を持っていまして、やっぱり古い歴史から学ぶことってとても多くて、例えば今の自分たちの生活と昔はどうだった、もう少しここはプラスしてこういう生活態度を変えたほうがいいねとか、そういったよい刺激になってくれる場所だと思っています。</p> <p>小学校だけじゃなくて、今、先ほど課長さんのほうからまだ資料がどこの学校がということが書かれていらない、持つていらっしゃらないという話ではあるんですけど、できる限り小学校、中学校含めて97校プラス1園が確認できるぐらい見ていただいて、意味は分からないけどこういうのがあったな。小学校のときに見たけども、中学校でもう一回見ると違って見えるということも多々あるかと思いますので、1回だけじゃなくて小学校、中学校、それぞれ1回ずつぐらいを見ていただく機会もあってもいいのではないかなど、これは感想です。全体としての評価4は的確ではないかと思っております。</p> <p>以上です。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>郷土資料室関係の最後にご意見やご質問があればお受けいたします。</p>
森 本 委 員	<p>細かい話になるんですけど、非常に私も何回もお伺いしましたけど、いい展示室だと思います。その中で、来場者数のカウント方法ですね。これをよく見ると文化財事務室より目視で出入りは確認できるというふうになっているんですけど、あんまり正確さに欠けるんじゃないかなという気がするので、せっかくなので、今度、篠崎に移ったときにDX化の時代ですから、監視カメラで何人カウントできたというふうに、正確な数字を合わせたほうがより評価も上がるんじゃないかなという気がいたしました。</p>
教育推進課長	<p>セキュリティーの部分では、監視カメラプラス隣の郷土資料文化財係から目視なんですけれども、人数のカウントについては、郷土資料室の入り口のところに実はセンサーがついておりまして、センサーでカウントをしているようなところが現状になります。</p>
教 育 長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、次に2件目は、学校版もったいない運動2024、学務課について何かありましたらお願ひいたします。</p>

伊 藤 委 員	<p>とても学校でもったいない運動を様々な角度から、これから地球を考えるのは大事なことだと思いますし、学校で感じると、また家庭でも子どもたちがそういう意識でやっているようなことも大事かと思います。</p> <p>さて、細かい質問なんですが、先ほど水道は減ったけれども電気がというところで、ドライシステムを動かすのは電気ですか。</p>
学 務 課 長	<p>ドライシステムというのは特にシステムがあるわけではなくて、給食室を掃除するときに、給食室って、洗浄したりするとお水があふれて、お皿を洗ったりとかするのが古い施設はそうなんですが、今はお水を下の床までジャーと流さなくても洗えるような状況になっているので、床とかも乾燥した状態で洗浄ができるというところで、お水をあまりたくさん使わなくともできるようなシステムになっています。それがドライシステムです。</p>
伊 藤 委 員	入っているんですね。
学 務 課 長	そうです。
伊 藤 委 員	ドライシステムで引っかかるつちやうと思つて。
学 務 課 長	すみません、ありがとうございます。
教 育 長	<p>私もね、昨年度までの立場で言うと、給食室って水をたくさん扱うので、もうジャバジャバやっちゃんいそうなイメージなんですけれども、確かに野菜の洗浄だとか水切りだとかいろいろなところで適切にドレンの配管になっていて、床に水が出てくるとか、何かそういったイメージでは全くないんですね。私も栄養士などとかに聞いたのは、水の飛び散りというのはもう目に見えない以上にすごくて、そこから汚染が始まるとということで、やはりドライ環境というのはすごく有益だと。</p> <p>水をまいて何かきれいにしたほうがきれいなんじゃないかなというのをきちんと適切に掃除をしているほうがきれいだということですね。ほこりなんかも舞い上がらないということです。</p> <p>今の学校はおトイレなんかもドライ化をしていますので、かつてはジャバジャバ水をまいてなんていう時代ではなくなってきているのかなというふうに思います。</p> <p>昔はそうでした。今はドライシステムです。すみません、話が脱線しまし</p>

	<p>た。</p> <p>それでは、学務課関係はほかに、学校版もったいない運動についてありますか。</p>
天 野 委 員	<p>まずは、年度別に数値によって表していただき、目に見えてくるので、多分皆さんもやりがいが出てくるでしょうし、このまま継続して定着する形でお願いできたらいいなと思っています。</p> <p>1点だけ、こちらの感想なんですけれども、学校訪問へ夏に行ったときに、寒いと思ったときが何回かございまして、やっぱり子どもの熱中症を多分危惧されて、ただ、お伺いのときは25度、26度なんてお話もありましたが、それでも随分涼しいのではなく寒いなということを感じています。</p> <p>環境が整い過ぎても子どもの教育によくないなどちょっと私は思うところがありまして、脱ぎ着できるのであれば、服装で調整できるよね、この気温だからというところの線をもうちょっと子どもが環境よく授業が受けられるんじゃなくて、熱中症にならない程度のものの設定温度を徹底していくだけると、さらにこのもったいない運動が充実するし、質の高いものになってくるのかな。</p> <p>繰り返しながら、子どもが楽をして学べる環境を設定するのではなくて、ちょっと努力が必要かなというぐらいがちょうどいいと私の個人感想で申し訳ありません。というところで、対応していただけるとうれしいな、こちら感想となります。</p> <p>以上です。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>この点で学校施設課長は何か学校の温度設定について思うところがあればなんですが。</p>
栗間学校施設 課 長	<p>そうですね。一応、自動設定にできるようにはしております。ただ、やっぱり一番大事なのは、その場にいる人の感じ方というところを多分重視して学校の先生方は温度調整をしているかなというのにはあります。</p> <p>あとは、もちろん改築校レベルになってきますと、職員室の中央制御盤で一律で制御することも技術的には可能ではあるんですけど、やっぱり教室を使っている使っていない、日当たりがあるない、そういうところで現場で調整いただくというところが、今現状で運用でお願いしているところではあります。</p>

	<p>ただ、ご指摘のように、かけ過ぎというところはかえってよくないというのももちろんあると思いますので、その辺りのところはぜひ先生方に周知させていただきたいなという思いはあります。</p> <p>以上でございます。</p>
教 育 長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、学校版もったいない運動、さらに何かご質問がありましたらお願いいいたします。よろしいでしょうか。</p>
	〔「なし」と呼ぶ者あり〕
教 育 長	<p>それでは、3件目、外国語指導助手（ALT）についての質問等がありましたらお願いいいたします。</p>
天 野 委 員	<p>ご質問が一つあるとの感想です。</p> <p>ぜひこのALTに対しては、私なんかは遅いぐらいだなど。世界で活躍できる人たちを子どもから育てていくという教育の部分でも、また江戸川は外国籍の子が多くなってきていて学べるチャンス、今がチャンスの中で、繰り返しですけれども、遅いなというところです。</p> <p>一つご質問です。ALTの方がネイティブスピーカーの方なのか、本国ではお話ししないんだけれども、英語が得意だからこの位置づけに立っていらっしゃるんだの、どちらの方々かちょっと教えていただければありがたいです。</p>
田中統括指導 主 事	<p>お答えいたします。この資料の中にもございますが、基本的には本区は3者、リンク・インターラック、ハートコーポレーション、ボーダーリンクという会社を採用してございますが、基本的にはネイティブスピーカーが学校には派遣されております。</p> <p>以上でございます。</p>
天 野 委 員	<p>ありがとうございました。やっぱり母国の言葉のほうがいろいろなところで若干のイントネーションも変わってくるでしょうし、分かりやすい、まず聞き、耳で慣れるというところで、基本、一番初めのスタートがネイティブスピーカーではないとちょっと何となく違和感を感じてくる場合も出てくるでしょうけれども、今の答えで安心しました。ありがとうございます。</p>

	以上です。
教 育 長	<p>私からも参考ともなるかどうか分からぬんですけども、イギリス英語とアメリカ英語なんて言っていた時代もありまして、中学校の英語はアメリカ英語の発音とするなんていう時代があったんです。今はそういうこだわりはあんまりないんですけども、片やオーストラリアとかニュージーランドの発音はAの発音がまたちょっと特殊だったりするんですね。そういうことに違和感は全く感じません。派遣元の国がオーストラリアやニュージーランドもありますし、むしろ今はアジア系のフィリピンとか、そういう国の方もいらっしゃるんですけども、それについて何か独特の学校教育にふさわしくないとかそういったことは感じないので、ネイティブと言っていいのではないかなと思っております。</p> <p>さて、ALTについてさらにご質問がありましたらお願ひいたします。大丈夫でしょうか。</p>
	[「なし」と呼ぶ者あり]
教 育 長	それでは、4件目でEDO塾について何かありましたらお願ひいたします。
伊 藤 委 員	資料を拝見しまして、本当に経験したお子様たちが満足度100%というのはすばらしいし、本当にありがたい事業だなというふうな感想なんですが、これは希望して入れなかつた方というのはいらっしゃったんでしょうか。
教 育 相 談 センタ－長	いろいろな審査の中で残念ながら該当しなかつた生徒がいるというのは事実でございます。
	以上でございます。
伊 藤 委 員	経済面と学力面と両方で。
教 育 相 談 センタ－長	そうです。
伊 藤 委 員	ありがとうございました。

教 育 長	ほかに E D O 塾関係でありましたらお願ひします。
天 野 委 員	<p>内部評価 5 というのは、5 段階のうちの 5 ですものね。一番初めに「おお」というところではあったんですけど、やはり開校から間もないのにこれだけ実績を上げていて、私が目にしている資料、充実してはいるもののそんなに多くはない。けれども熱量を感じられる内容で、きちんと形態ができているなというところでは 5 でもいいのかなと。</p> <p>さらに、5 ではあるものの課題がまだあるというところで、見えない 6 を目指していらっしゃるというところでは納得というか、ぜひこのまま継続して子どもたちは原石ですから、ダイヤになるように、そういったところをプラスアルファ、学びの面でもサポートしていただけたらそんなにありがたいことはないです。</p> <p>以上です。</p>
教 育 長	教育相談センター長、一言お願ひします。
教 育 相 談 セ セン ター 長	<p>昨年度、今年度とやらせていただいているんですけども、これに携わっている指導主事たちがですけども、みんな教諭なんですけども担任から外れている中で、本当に自分の子たちを送り出す、成長させるということ、自分が担任だという思いでやっている事業でございますし、また、その子たちの様子を見ると本当に情熱も出してもらいながらやらせていただいている事業でございます。</p> <p>子どもたちの声を聞くと本当にやってよかったなということと、まだまだこの事業につきましては可能性がいろいろあるので、例えば、足立区でも似たようなことをやっているんですけども、そこと何かオンラインでつなぎながら、他区の子たちと切磋琢磨していく、そういうこともやっていきたいなと思ってございます。</p> <p>以上でございます。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、E D O 塾まで行っておりますが、1 件目の郷土資料室から E D O 塾までを含めて、総括的に何かご意見、ご質問等があれば最後にお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。</p>

	[「なし」と呼ぶ者あり]
教 育 長	<p>それでは、ないようでございますので、第50号議案は原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p>
教 育 長	<p>[「異議なし」と呼ぶ者あり]</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、原案のとおり決定いたします。</p> <p>続いて、日程第3、教育関係事務報告にまいります。</p> <p>まず、教育委員会後援名義の使用承認について、事務局から説明をお願いいたします。</p>
教育推進課長	<p>それでは、後援名義につきましてご報告申し上げます。</p> <p>今回は1件であります。6回目の後援名義申請でございまして、行事名は第31回全国ジュニアラグビーフットボール大会でございます。</p> <p>申請者は公益財団法人日本ラグビーフットボール協会会長、事業の目的でございますが、全国各地域の中学生ラグビーの活動を活性化し、中学生プレーヤーの交流を促進するとともに、心身の発達と競技力向上を図るというものでございます。</p> <p>実施日時は、令和7年12月25日木曜日から27日土曜日まで、会場はスピアーズえどりくフィールド及び江東区夢の島競技場でございます。</p> <p>事業の対象と範囲は、各都道府県代表の中学生チーム、経費の徴収として1人1,000円の参加費がございます。</p> <p>次のページが企画書であります。</p> <p>企画書の次のページ、ジュニアラグビーフットボール大会実施要項（案）をご覧ください。</p> <p>1番の目的に書いてございますように、U15中学生世代の選手を育成することを前提にして、代表チームによる大会を実施するというものでございます。</p> <p>3番にございますように、主催はラグビーフットボール協会でございまして、6番にございますように、スポーツ庁、東京都並びに江東区も含めて後援名義を取得予定でございます。</p> <p>9番の会場にございますように、会場としまして江戸川区のスピアーズえどりくフィールドと江東区の夢の島競技場が会場として設定している関係</p>

	<p>から、江戸川区、江戸川区教育委員会及び江東区及び江東区教育委員会が後援名義の使用を承認している事業でございます。</p> <p>次のページ以降にございますように、男子、女子それぞれブロックに分けてトーナメント戦を実施するというものになってございます。</p> <p>次の資料が収支予算書でございますので、こちらも参考にご覧いただければと思います。</p> <p>報告は以上です。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>この件に関しまして、何か質問、ご意見等がありましたらお願ひいたします。</p>
天 野 委 員	<p>後援名義については賛成です。</p> <p>それを前提として、これは毎回伺っているかもしれませんけれども、江戸川区で出場するのはなかなか難しいかもしれません、ジュニアラグビーフットボール、チームでもいいですけど、所属している子どもたちは中学生でいらっしゃるんでしょうか、江戸川区は。</p>
教育推進課長	<p>大体のこの申請者の方には確認はしているんですけども、詳しく把握していないということでありました。あと今年度については、まだ予選が終わっていない状況ですので、最終的に出場するチームが決まっていないというところであります。</p> <p>昨年度以前のものについてはホームページで東京の代表はこの子という名前は確かに出てるんですけども、出身地並びに出身学校等は公表されていないのが状況でございます。</p> <p>以上です。</p>
天 野 委 員	<p>全国ですからね、出場できる江戸川区の中学生がいるのであれば、スポーツ協会なのか分かりませんけれども、すごいねということの意思表示を私たちからできるような、そんなことがあったらうれしいなと思うのと同時に、今まで行ったんだけどなかなか行けなかつたという子は、予算づけはしていないんですけども、江戸川区でやっているところであれば招待してあげてもいいんじゃないかなという、全国大会はレベルの高いところだと本物のラグビーフットボール、中学生でありながら本物が見れるというチャンスってそんなにないかと思いますから、ぜひそういうところもあればいいなとい</p>

	う思いと、後援名義としても賛成です。 以上です。
教 育 長	ありがとうございました。 それでは、ほかにご質問、ご意見等がありましたらお願ひいたします。よろしいでしょうか。
	[「なし」と呼ぶ者あり]
教 育 長	それでは、ないようございますので、ただいまの報告事項を了承いたします。 続いて、いじめ電話相談（令和7年10月分）について事務局から説明をお願いいたします。
教 育 相 談 センターエネルギー長	令和7年度10月分のいじめ電話相談につきましてご報告させていただきます。 10月は5件ございました。学年別・男女別件数ですが、小学校3年生の女子児童に関することが1件、中学1年生の男子生徒に関することが1件、中学2年生の男子に関することが1件、また中学2年生の女子生徒に関することが1件、その他1件、計5件となっております。 相談の内訳としましては、暴力に関することが1件、お金に関することが1件、言葉に関することが4件、その他が1件、計7件でございます。 架電者なんですが、母親からが3件、父親からが1件、その他が1件、計5件となっております。 以上でございます。
教 育 長	ありがとうございます。 ご質問、ご意見等がありましたらお願ひします。
天 野 委 員	この内容というか、お話しできる範囲で内容を教えていただきたいのと、この一つ一つの案件について学校側が気づいているのか、もし気づいていれば学校は対応に入っているのかのお話をできる範囲で教えていただければと思います。

教育相談センター長	<p>まず、1件目、中学2年生の女子生徒の件ですが、こちらは部活動内の仲間外れ的な、そういう疎外感を感じているというところでの父親からのご相談でございます。学校のほうは顧問のほうがそこまでの認識はなかつたので、現在、保護者の方と学校、管理職も含めまして事実確認と、また保護者がどんなふうに事実確認を取っていけば一番いいのかというところで丁寧に聞き出ししながらの対応をしているところでございます。</p> <p>2点目が、中学1年生の男子生徒のことです。こちらに関しましては、自分のお子さんが友達の悪口を書いてしまった。加害者の方の相談の電話でございます。今後、どのように学校で謝罪の場が開かれるかというところなんですけども、今後どのように子どもが学校と向き合っていけばいいのかというところでの相談のご連絡でございました。</p> <p>現在、こちらにつきましては、学校のほうも対応しているんですけども、どのように子どもの対応を支援していくべきかというところを悩んでいらっしゃいましたので、まずはその部分も含めて学校に相談と教育相談室につながっていきましょうということでお話をさせていただいているところでございます。</p> <p>お母さんとしましては、この件をきっかけに子どもも私も成長できるチャンスだというところでプラスに持っていくようにしていきたいと思っていますというところで、しっかり向き合っていこうというところで、今進めているところでございます。</p> <p>続きまして、その他の件になるんですけども、こちらは匿名の方からのお電話で、近隣の場所で小学6年生か中学1年生ぐらいの子ども集団、子どもたち6人ぐらいが何かいじめをしているんじゃないかなというところのご連絡をいただいたというところになります。</p> <p>こちらにつきましては、連絡してくださった方がどこの学校かも分かりませんということでしたので、その後すぐに私たちのほうで全学校にこういう情報が入っているので確かめてくださいということで依頼をしたところでございます。ただ、残念ながらですねちょっと情報提供がなかったというところで、今後も注視していかなければならぬという事案でございます。</p> <p>4件目でございます。こちらは小学3年生の女子児童の件でございます。今まで学校のほうでその場その場での対応はしていたんですけども、完全に再発防止に至るまでに十分に至っていないということが分かっているところでございます。</p> <p>こちらにつきましては、指導主事のほうともっと対応について焦点を絞りながら、再発防止というところに絞ったほうが、何か嫌なことがあったとき</p>
-----------	--

にすぐに声を上げられる大人をつくるというところで、現在、対応のほうを進めているところでございます。

最後、5点目でございます。中学2年生の男子生徒の事案でございます。こちらは同級生からお金を要求されたというところでのご相談でございます。

一番の主訴としましては、加害の生徒の保護者から謝罪がないというところで、今後どのように対応していくべきかの相談です。

今現在、学校のほうとしましては、事実確認は終えまして、実際にあったことに対してはしっかりと生徒間同士の中で謝罪と、また、加害に至ったほうの保護者に対してはしっかりと連絡はしているところでございます。

以上でございます。

教 育 長

ありがとうございました。

ほかにご意見、ご質問等がありましたらお願いいいたします。

天 野 委 員

一つだけ、ごめんなさい。お願い事というか、5番目の謝罪に関してなんですけど、謝罪をする、しない、とても大切だと思うんです。

もう一つ、加害者が悪いことをしたなという理解なら一番、一番というか、なんでいけないのということにならないように、もう中学生ですからその辺を理解できているとは思うものの、友達同士、ただ単にそういった話をしただけなんだよねなんてことにもつながらないように、しっかりといい悪いをグレーゾーンなく、その線を理解していただくというところにもちょっと力を注いでいただけたらと思います。お願ひします。

教 育 長

ありがとうございます。

ほかにいかがでしょうか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

教 育 長

それでは、ないようございましたら、ただいまの報告事項を了承いたします。

次に、令和6年度における本区の暴力行為・いじめ認知件数・不登校の状況について、事務局から説明をお願いします。

教育相談センター長	<p>令和6年度、昨年度における本区の暴力行為・いじめ認知件数・不登校の状況につきましてご報告させていただきます。表のほうを見ていただきながら説明させていただきたいなと思っております。</p>
	<p>1の調査の概要につきましては割愛させていただきます。</p>
	<p>2の暴力行為の状況からです。表の真ん中の発生件数をご覧ください。</p>
	<p>令和6年度江戸川区小学校で発生した暴力件数は395件となっております。令和5年度は197件でしたので、約2倍増加しております。中学校につきましては、令和6年度は213件、令和5年度、その前の年は155件ということで、こちらは中学校のほうでも暴力件数は増加しているところでございます。</p>
	<p>続きまして、3番のいじめ認知件数の状況でございます。左から三つ目の認知件数をご覧ください。</p>
	<p>江戸川小学校で認知したいじめの件数は、令和6年度は5,081件でございました。令和5年度は4,858件でしたので、いじめの認知件数は増加しているところでございます。中学校は令和6年度は626件、令和5年度は627件でしたので、同推移を保っているのかなど捉えております。</p>
	<p>4番の不登校の状況でございます。左から四つ目の不登校数をご覧ください。</p>
	<p>令和6年度、小学校は644件でした。その前の年、令和5年度は639人でしたので、微増をしております。中学校のほうです。令和6年度は1,321件ございました。令和5年度は1,294人でしたので、中学校のほうでも微増しております。トータル的に令和5年度と比較して微増しているところなんですが、発生の上昇率に関しましては、経年比較をしましても大分新しい発生がとどまってきたなというところも分析のほうはしているところでございます。</p>
	<p>報告は以上でございます。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございました。</p>
	<p>この件に関しまして何か質問、ご意見等がありましたらお願いいたします。</p>
天 野 委 員	<p>いいですか、すみません。申し訳ありません。</p>
	<p>まずは学校の協力があって、あればこそこういった件数が増えてきているという情報がここに来ているということは、まずは皆さんにご協力をありがたいなと思っています。</p>

その中で、暴力とかそういったところの線引きをしても、それはいけないよねというところというのはどんどん対応していただきたいと思うんですけども、この間もご意見を言ったかもしれませんけど、言葉でのやり取りで傷ついた傷つかないというのは、生まれて10年程度の子が全て世の中うまく回せるようなコミュニケーション能力を持っているかといったらそんなことはなく、やっぱりそれぞれがオギャーと生まれてから徐々に徐々にコミュニケーション能力を高めていくにあたっては、やっぱりどうしてもそれは避けられない。暴力は駄目なんですが、言葉のやり取りの中で言っちゃいけないこと、言っていいことというのもそこで経験していく部分もあるかと思うんです。

ちょっと私は疑問というか、今インターネットがSNSでの情報のやり取りがあつて輪ができ過ぎちゃって、当人と関わりのない人、友達というか仲間も含めて、クラスメイトも含めて、関わらないで1年過ぎちゃったという人も中には出てくるのか、対面のコミュニケーション能力を高める場が減つてしまっているのかなというところで、こういったいじめのケース、もしくは不登校というところも上がってきてしまっているのではないかというところをちょっと感じるんですけども、そういった授業では枠はつくれないものの、みんなで話そう、対面で話そう、人の心に思っていることを感じ取ろうみたいな、そういった授業じゃないんですけども、そういったところというのはあるんでしょうか。

教育相談センター長

いつときコロナの時期は、本当にそういう対面での授業を行ったり、そういう場が一気になくなってしまいました。そこを起因としまして、コミュニケーション能力が下がったんじゃないかと言われた時期もあったんですけども、コロナが明けましてこの状況を見ていますと、なかなかコロナだけでは言い切れない部分もあるのかなと思っているところでございます。

やはり子どもたちのコミュニケーション能力、顔とか目と目を合わせて表情を見ながら相手が思っていることをこういうふうに言ったらこういうふうに傷つくんだなとかというのは、今後もつくっていかなければならない、意図的につくっていかなければならぬとは思っているところでございます。そのためには授業の中では、一番は道徳の時間の中では一番それができるんです。もう一つは特別活動、学級会等ですね。そういうところでもやるところです。

また、各教科におきましても、現在話し合いの場は必ずつくっていくようになりますと、考え方、みんなの意見を調整していく。相手の状況を考え

	<p>ながら意見を調整していくというのも意図的にやっているところですけども、本当にいじめ問題行動の健全育成に関わる話し合いというところは、今年、モデル校を2校ほどつくりまして、そういう授業、こういう授業をやってみませんかというのを、今、逆提案、学校に提案するところでございますので、来年以降、どんどん増やしていこうかと思っているところです。</p> <p>以上です。</p>
天野委員	<p>そういったところで気づきがセンターのほうでもあるということをお伺いしてほっとしていると同時に、やはりSNSの利点とリスクというところで、自然の中で人を尊重して、自分の意見だけが通らなくて人の話も聞きながら調整していかなきやいけないんだなというような苦しい部分もあるかと思うんですけども、それも含めて学びの場、それが学校の一つの役割かと思っていますので、応援していますので、ぜひお願ひしたいと思っております。</p> <p>以上です。</p>
教育長	ありがとうございます。
伊藤委員	<p>今のお話と関連してなんですかけれども、やはり今、数件、私も近所で聞いたんですが、不登校なんですがいじめは全くなく、もしかしたらあるかもしれないんですけど、親御さんにはいじめられてはいないけれども学校に行きたくないというのは数件聞いたことがあります、それでずっとやっぱり1日中ゲームをやっているということで、昼夜逆転してということがすごく増えているような気がとてもしまして、それに対してどうしていくかというのは難しい問題だと思うんですけれども、やはりゲームの世界は自分で、この間も教えていただいたように、自分で仲間を切れちゃう。自分に合わなかつたら、対面の状態でしたら切れないけれども、ゲームの世界は全然切れちゃって、次のコミュニティに行くということが平気でできてしまって、そのほうが子どもの心にとっては居心地がしやすくなってしまっているのかなと思って話したときに、どうしたらというの難しいんですけども、やはり対面に持っていくまでの画面を通してコミュニケーションができたりとか、何か人と話すとこんなことを知ったみたいな、そんなことが刺激になったりとかというのはないのかな。</p> <p>本当にケースバイケースだとは思うんですけれども、不登校の中にはそういうお子さんもたくさんいるような気がするので、このような時代なのかな</p>

	ということをすごく感じています。感想ですが。
教 育 長	ありがとうございます。
教 育 相 談 センタ－長	<p>ありがとうございました。</p> <p>私たちの中では、私がこのセンター長にならせてもらって、学校にセンタ－の目標としてどこともつながりのない子をゼロにするということを目標に掲げまして、つながることによって、やっぱり人と関わる機会、話す機会というのをつくっていきたいというのがございまして、そこはこれからも増やしていきたいと思っております。</p> <p>昨年度のどこともつながりが持てていない児童生徒が、区では小学生が65人、中学生は81人と、結構まだまだいるんですけども、現在、令和7年10月時点では、小学校65人から今は21人、中学校が現在16人、これはまだつながっていない状況です。逆に言えば、あと47人つながっていければ、その子たちは何かまた一歩、人と関わっていくというところを、また生活リズムを戻すときにチャンスが生まれると思っておりますので、そういう支援に向けては、ぜひ進めていきたいと思ってございます。</p> <p>以上です。</p>
天 野 委 員	ありがとうございました。
教 育 長	ほかはないでしょうか。よろしいですか。
	[「なし」と呼ぶ者あり]
教 育 長	<p>それでは、ほかにないようでございますので、ただいまの報告事項を了承いたします。</p> <p>以上をもちまして、令和7年第21回教育委員会定例会を終了いたしました。お疲れさまでした。</p>
	閉会時刻 午後2時36分